

## 第10回浜松国際ピアノコンクール

### 当社フルコンサートピアノSK-EXを弾いたジャン・チャクムルさんが優勝

去る11月8日～25日にかけてアクトシティ浜松で開催された第10回浜松国際ピアノコンクールで、フルコンサートグランドピアノ「SK-EX」を使用して本選に臨んだジャン・チャクムルさん(トルコ)が見事優勝の栄冠を勝ち取りました。

23日から2日間行われた本選では、ファイナリスト6名がそれぞれ選んだ曲でオーケストラとの共演に臨み、大ホールにその音色を響かせ聴衆を魅了しました。



©浜松国際ピアノコンクール事務局

当社ピアノは、第1回より公式ピアノとして採用され、前回2015年の第9回コンクールでは、「SK-EX」を弾いたアレクサンデル・ガジェヴさんが優勝しております。

10回目の節目となった今回は、世界38の国と地域から382名が応募し、3次にわたる予選を通過した6名による本選が行われた結果、予選から一貫して「SK-EX」を演奏したジャン・チャクムルさんが見事優勝。同じくSK-EX使用の務川慧悟さん(日本)が第5位、安並貴史(日本)さんが第6位をそれぞれ受賞しました。

今回も「SK-EX」は多くのコンテストの皆さんにご評価いただき、自らの演奏表現を託すピアノとして使っていただきました。



©浜松国際ピアノコンクール事務局

## 株式会社 河合楽器製作所

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地  
Tel:053-457-1390 FAX:053-457-1300  
URL:<http://www.kawai.co.jp/>

UD FONT

**KAWAI**  
もっと伝えたい、感動を。

## 第92期 中間報告書

2018年4月1日～9月30日



優勝 ジャン・チャクムル氏

©浜松国際ピアノコンクール事務局

証券コード7952

**KK** 株式会社 河合楽器製作所



## 株主のみなさまへ

第92期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当上半期の日本経済は、政府の経済対策により雇用情勢や企業収益の改善がみられ緩やかな回復基調が続きましたが、世界経済は、米中の貿易摩擦や新興国経済の減速懸念などにより先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと、昨年創立90周年を迎え、来たる創立100周年に向け新たなスタートを切った当社グループは、中期経営計画『Resonate2018』の最終年度として、100年ブランドとしての企業価値向上の推進と長期的な安定成長を目指し、掲げている主要戦略と基盤づくりに取り組みました。また本年8月には『第2回Shigeru Kawai国際ピアノコンクール』を開催し、多くのピアニストのエントリーとハイレベルな演奏により大きな反響を頂きました。今後も次世代を担う若手ピアニストの発掘・育成に取り組んで参ります。

中間配当につきましては、期末1回の配当を基本方針とさせていただきます。引き続き見送ることとさせていただきます。

今後も国内外とも厳しい経営環境が予想されますが、引き続き、中期経営計画『Resonate2018』の取り組みを完遂し、株主の皆様への還元を図るとともに、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

代表取締役会長兼社長 **河合弘隆**



## 事業の概況

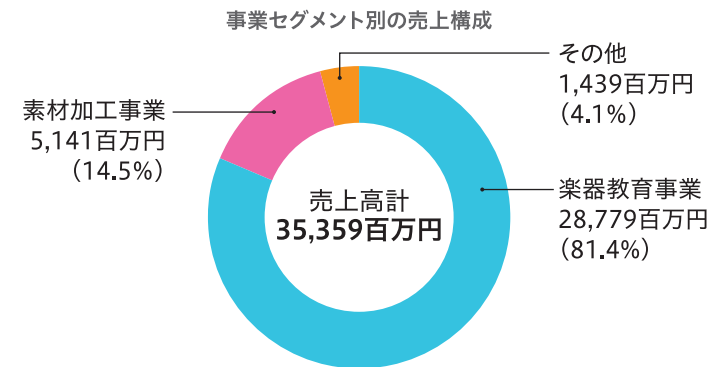
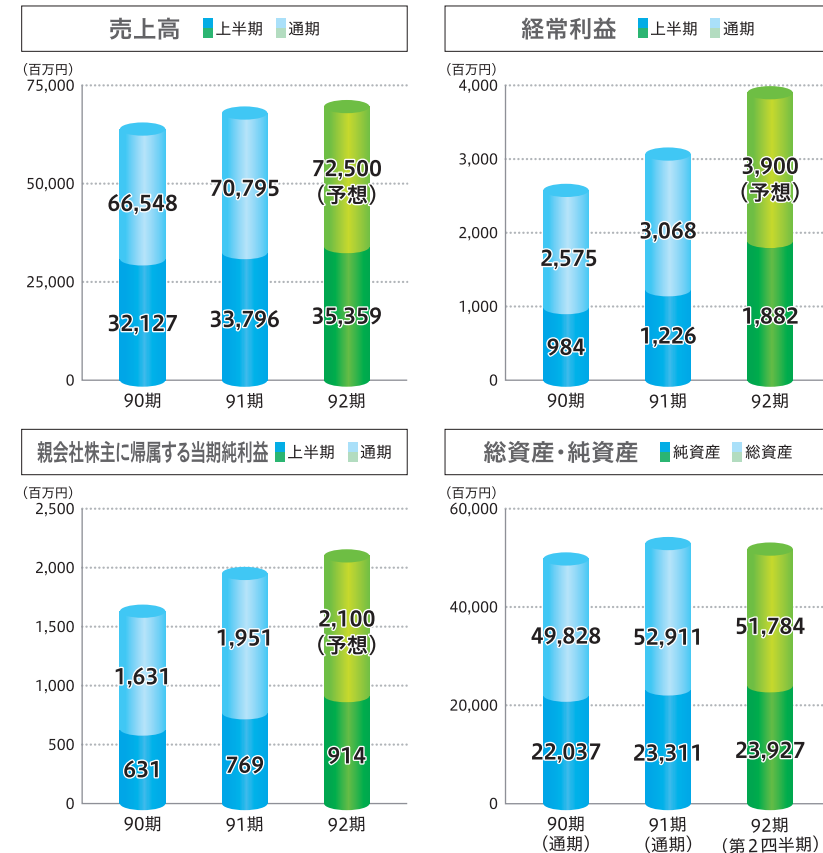
当上半期、国内では店舗戦略として6月に「カワイ仙台」をリニューアルオープンし、これまで継続的に取り組んできた中核都市におけるお客様とのタッチポイントの拡大を進め、『Shigeru Kawai』をはじめとした高付加価値販売に取り組みました。海外では、米国やドイツでの直営店展開の強化により鍵盤楽器の販売拡大を図るとともに、中国や東南アジアでは、当社の強みである販売・音楽教室・調律・生産の四位一体のノウハウを活かして、中長期的な成長に向けた展開を推進しました。

商品政策としては、消音機能と高性能の響板スピーカーを搭載したハイブリッドアップライトピアノ『AURES(オーレス)』を開発し、大型のスピーカーに匹敵する迫力と、響板ならではの豊かな響きを実現し、お客様がよりピアノライフを楽しめる新製品を発表しました。

また昨年創立90周年の節目に合わせ創設した、『Shigeru Kawai国際ピアノコンクール』の第2回を本年8月に開催し、17の国と地域から239名のピアニストがエントリーしてハイレベルな演奏が繰り広げられ、大きな反響を頂きました。

これらの結果、売上高は35,359百万円(前年同期比1,563百万円増)、営業利益につきましては1,719百万円(前年同期比651百万円増益)となり、経常利益は1,882百万円(前年同期比656百万円増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は914百万円(前年同期比145百万円増益)となりました。

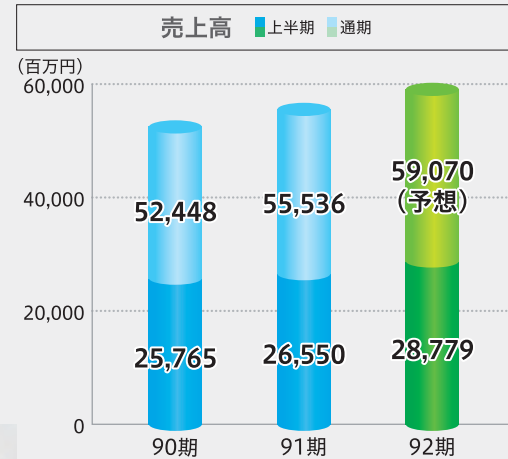
## 業績ハイライト



## 各事業セグメントの概況

### 楽器教育事業

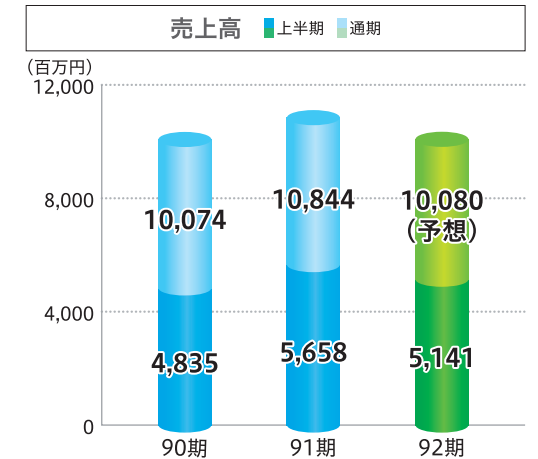
楽器教育事業では、主力のピアノは中国での伸長をはじめ、欧州、北米、日本で販売が堅調に推移しました。デジタルピアノは昨年刷新した最上位モデルの『CAシリーズ』を中心に欧州や日本などで好調に推移しました。この結果、売上高は28,779百万円(前年同期比2,228百万円増)となり、営業利益は1,262百万円(前年同期比651百万円増益)となりました。



Shigeru Kawai  
グランドピアノ

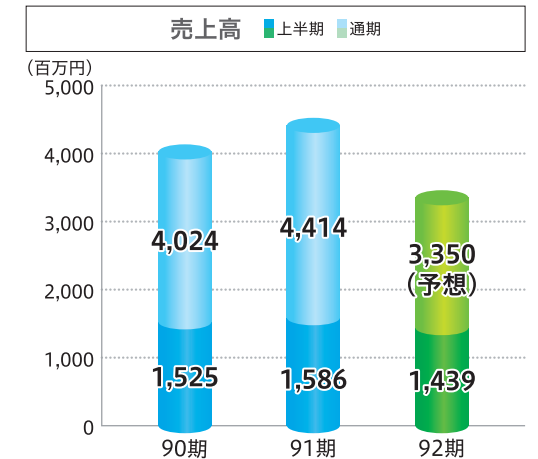
### 素材加工事業

素材加工事業は、半導体関連部品や自動車の内装部品の受注が減少したことなどにより、売上高は5,141百万円(前年同期比517百万円減)となり、営業利益は479百万円(前年同期比81百万円減益)となりました。



### その他

その他の事業は、医療機関向けIT機器の販売減少により、売上高は1,439百万円(前年同期比147百万円減)となりましたが、ソフトウェア開発の受託増などにより、営業損失は12百万円(前年同期比53百万円改善)となりました。





## 第2回

# SHIGERU KAWAI 国際ピアノコンクール



### 世界17の国と地域から、239名が熱演。

「第2回Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール」が本年8月、東京で開催されました。世界17の国と地域から239名の若きピアニストたちがエントリーし、フルコンサートピアノSK-EXの幅広い表現力を駆使した演奏を披露。栄えある第1位にはアンドレイ・シニコ氏が輝きました。

海外予選のビデオ審査および日本国内3箇所での予選会を本年3月～4月に実施。見事19名の若きピアニストたちが進出した「セミファイナル」は、8月8日～9日に表参道パウゼで開催され、世界各国の様々な個性豊かな表現がぶつかり合う刺激的な競演が繰り広げられ

### 世界へ羽ばたくピアニストたちの登竜門。

「Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール」は、1967年から小・中学生を対象とした音楽コンクールを開催してきた当社が、次世代を担うピアニストの発掘・育成を目的として、16-26歳までを対象に2017年に創設した国際コンクールです。当社創立90周年の節目でもある2017年開催の記念すべき第1回では、初回にもかかわらず大きな反響を得ることができました。

ました。そしてセミファイナルを勝ち抜いた6名による「ファイナル」は、8月11日に東京文化会館で開催されました。

非常に狭き門となった予選会を突破し、最終選抜された6名のコンテストたち。ファイナルステージでは、彼らによるハイレベルな熱い演奏を聴こうと多くの聴衆が訪れ、会場はほぼ満員に。SK-EXの音色の深さを余すところなく引き出すスケールの大きな演奏を披露。会場は、若手ピアニストの躍動やShigeru Kawaiピアノの魅力を存分に堪能し、大きな盛り上がりを見せていました。

このような評価に応えるべく、第2回となる今回は予備審査の通過枠拡大や、ファイナルの課題曲に2台のピアノによる「ピアノ協奏曲」を採用する等、これまで以上に幅広い音楽性を審査できるよう改定を行いました。今後も全世界から個性溢れる多彩な才能が集うコンクールを目指してまいります。

## トピックス

### 『楽器フェア2018』に出展

当社は本年10月19日～21日に東京ビッグサイトで行われた日本最大の楽器総合イベント「楽器フェア2018」に出展しました。

当社のブースにはグランドピアノSK-7を始め、10月に発売したハイブリッドアップライトピアノAURES(オーレス)やデジタルピアノCA98EP/CN27DWなどの新製品も数多く展示され、前年を上回る6,500人もの来場者が集まり連日賑わいを見せていました。

また、当フェアの別会場で行われた、各社の良質なフルコンサートピアノを試弾できるプレミアム・グランドピアノ試弾会には当社のSK-EXを出展しました。



▲ 展示された当社商品

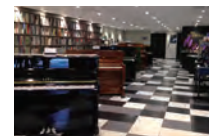


▲ プレミアム・グランドピアノ試弾会の様子



▲ 当社のブース

### 「カワイ仙台」リニューアルオープン



▲ 1階店内



▲ コンサートサロン「ヴェルデ」



▲ リニューアルされた外観

梅雨の合間の晴天に恵まれた本年6月23日、当社の直営店であるカワイ仙台ショップが「カワイ仙台」としてリニューアルオープンしました。

1966年から東北地区最大規模のピアノショールームとして、地域の音楽文化の発信拠点として親しまれてきた当ショップのリニューアルを記念し、店舗に併設したコンサートサロン「ヴェルデ」で記念レセプションを開催。多くの来賓・関係者の皆様にご来場いただきオープンを祝いました。

カワイ仙台は、広い店内にグランドピアノをはじめ多くの鍵盤楽器や楽譜、ミニピアノなどの品揃えを誇ります。「ヴェルデ」の収容人数は100名で、当社が誇るフルコンサートピアノSK-EXが常設されています。

### 宋慶齡基金会と連携し、中国で幼児教育支援を開始

2016年の「宋慶齡基金会河合音楽専攻基金」設立以来、中国における青少年音楽教育事業の推進・カワイ音楽教育システムの普及に向けた取り組みが続けられています。

そのような中、本年4月、宋慶齡基金会の王主席を始めとする訪日団が浜松を訪問し、カワイ音楽教室でのレッスンを視察されました。この訪問で宋慶齡基金会側におけるカワイの音楽事業への理解が深められ、本年9月には中国の宋慶齡芸術センターにて幼児向けのレッスンが開講されました。

宋慶齡芸術センターでのレッスンの様子 ▶



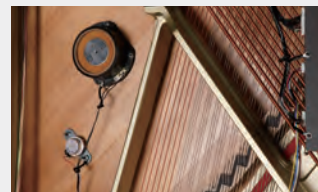


## ■ 新製品情報

### ハイブリッドアップライトピアノ「AURES」

当社は、アップライトピアノに消音機能と響板スピーカーを搭載した、ピアノとしての機能とオーディオとしての楽しみを提供する、新しいアップライトピアノ「AURES(オーレス)」を本年10月5日に発売しました。

Audio(オーディオ)とResonance(共鳴)の造語である「AURES」は、アコースティック音はもちろんのこと、電子音を重ねてアンサンブルを楽しんだり、電子音のみで音量を小さくすれば周囲を気にせず好きな時間に演奏ができたりと、演奏する楽しみをさらに広げるピアノです。



▲ 響板スピーカー



▲ LCDタッチパネル



▲ K-500 AURES

### ポータブルデジタルピアノ「ES110」

「ESシリーズ」は、2000年の発売以来、スタイリッシュなデザインとコンパクトなボディで人気のデジタルピアノです。2017年より海外市場で先行して販売を開始した「ES110」は海外で好評価を受け、国内からも多くのご要望を頂いたため、国内市場でも本年7月20日に発売しました。

「ES110」はカワイデジタルピアノの中で1番の軽さを実現しているだけでなく、ピアノとしての高い基本性能をも併せ持ったポータブルデジタルピアノです。より多くの方にお楽しみいただけるよう、お求めやすい価格を実現しました。



▲ ブラックとホワイトの2色展開(スタンド別売り)



### ナサール・オーダータイプ・リフレクス

当社は、自由設計の防音ルーム「ナサール・オーダータイプ」に新たな技術を搭載した新モデル『ナサール・オーダータイプ・リフレクス』を本年9月19日に発売しました。

当製品は確かな遮音性能はそのままに、新開発の音響拡散パネルの採用・天井全面の吸音方法の改善・豊富なカラーバリエーション等により、演奏者にとってより心地良い響きの空間を実現した防音室です。



## ■ 環境社会貢献



### 海外植林活動 インドネシアの「カワイの森」

創立80周年記念事業として2007年にカワイグループの有志により設立された「カワイの森育成会」(会長河合弘隆)は、カワイグループの地球環境憲章の基本理念に則り、CO<sub>2</sub>の吸収源の確保等を目指して、インドネシア現地法人とインドネシア森林公社との連携のもと、海外生産拠点のあるインドネシアにおいて植林活動を行っています。

2017年に第2期植林(2013年度~2017年度)が完了し、第1期植林(2007年度~2012年度)と合わせて500ha、約50万本の植林を行いました。

本年2月には、これまでのカワイグループ従業員の寄付によるカワイの森育成会の植林活動に対し、インドネシア森林公社本部から感謝状が授与されました。



▲ マングローブ林植樹



▲ 2014年植樹のチーク生育状況視察



▲ 感謝状授与の様子

### 国内植樹活動 仙台の「カワイの森」

「カワイの森育成会」では、東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生を目指す林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に参加してきました。

本年5月12日宮城県仙台市で行われた海岸防災林植樹会では、カワイ音楽教室・カワイ体育教室の生徒・保護者の皆様や、カワイグループの従業員等総勢74名で約320本の抵抗性クロマツの苗を植樹しました。

今後も引き続き樹木の生長を見守っていきます。



▲ 植樹を記念した看板



▲ 抵抗性クロマツの苗(2018年植樹)



▲ 2018年植樹の際の集合写真

## 決算情報/会社概況 (2018年9月30日現在)

### ■連結貸借対照表(要旨) (百万円)

科 目	当上半期 '18.9.30現在	前期 '18.3.31現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	28,366	28,438
固定資産	23,417	24,473
有形固定資産	14,208	14,344
無形固定資産	776	797
投資その他の資産	8,431	9,330
資産合計	51,784	52,911
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	16,049	17,198
固定負債	11,806	12,401
負債合計	27,856	29,599
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	23,386	22,877
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	16,094	15,609
自己株式	△ 1,088	△ 1,112
その他の包括利益累計額	454	339
非支配株主持分	87	93
純資産合計	23,927	23,311
負債及び純資産合計	51,784	52,911

### ■連結損益計算書(要旨) (百万円)

科 目	当上半期 '18.4.1~'18.9.30	前上半期 '17.4.1~'17.9.30
売上高	35,359	33,796
売上原価	25,889	25,253
売上総利益	9,470	8,542
販売費及び一般管理費	7,751	7,474
営業利益	1,719	1,067
営業外収益	287	292
営業外費用	124	133
経常利益	1,882	1,226
特別利益	7	20
特別損失	491	12
税金等調整前四半期純利益	1,398	1,234
法人税等	485	457
四半期純利益	913	777
非支配株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)	△ 1	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	914	769

### ●会社の概要

商 号	株式会社河合楽器製作所 [英文表記] KAWAI MUSICAL INSTRUMENTS MANUFACTURING CO.,LTD.
創 立	1927(昭和 2)年8月 9日
設 立	1951(昭和26)年5月15日
資 本 金	7,122百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
主 な 事 業	楽器の製造、仕入並びに販売 音楽教室・体育教室の運営 金属加工品・木工加工品の製造、仕入 並びに販売
従 業 員 数	連結2,849名、単体1,291名

### ●事業所

本 社	〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
工 場	[国内] 竜洋工場(静岡県磐田市)など [海外] インドネシア、中国
営 業 拠 点	[国内] 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪など [海外] アメリカ、ドイツ、中国など

### ●役 員

代表取締役会長兼社長	河合 弘 隆	常勤監査役	玉 村 邦 明
取締役副社長 執行役員	伊 藤 照 幸	常勤監査役	鈴 木 秀 一
取締役副社長 執行役員	金 子 和 裕	社外監査役	中 野 好 文
専務取締役 執行役員	日 下 昌 和	社外監査役	田 畑 隆 久
専務取締役 執行役員	西尾正由紀	執行役員	大 神 正 清
専務取締役 執行役員	河合健太郎	執行役員	森 直 樹
常務取締役 執行役員	牧 田 春 光	執行役員	箕 輪 匡 文
取締役 執行役員	牛 尾 浩	執行役員	上 田 貴 洋
社外取締役	片 桐 一 成	執行役員	八 木 正 樹
社外取締役	中 村 捷 二	執行役員	関 根 卓 哉

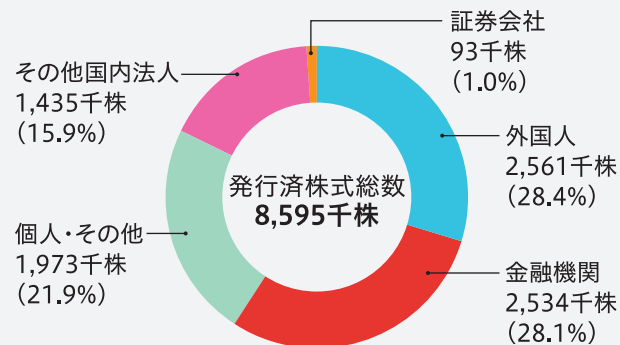
## 株式状況/株主メモ

### ●株式の状況

1 発行可能株式総数	34,200千株
2 発行済株式の総数	8,595千株 (自己株式416,348株を除く)
3 株主数	4,576名
4 主要株主	

株 主 名	株式数(千株)
HSBC BROKING SEC. (ASIA)	811
株式会社河合社団	477
住友不動産株式会社	441
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	334
明治安田生命保険相互会社	300
河合楽器取引先持株会	298
カワイ従業員持株会	289
株式会社学研ホールディングス	278
東京海上日動火災保険株式会社	275
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	253

### 5 株主構成



### ●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載アドレス

http://www.kawai.co.jp/ir

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

電話照会先  
電話 ☎ 0120-782-031  
(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないために特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払い配当金のお支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。